



つばさ

令和6年度つばさ小学校卒業証書授与式式辞



つばさ小校区の都会の道端にも、力強く野草が色とりどりの花をつけ始め、春の息吹が強く感じられる頃となりました。このよき日に、さいたま市教育委員会 生涯学習部 北図書館 館長 玉木 浩太郎 様、さいたま市 議会局 局長 穂刈 浩 様をはじめ、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、令和6年度 さいたま市立つばさ小学校 第十六回 卒業証書授与式を挙行できますことを心より深く御礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、皆さんの小学校生活は、決して順風ばかりでは ありませんでした。1年生の3学期、突然の全国一斉休校、そして、休校明けも、次々と繰り返される学級閉鎖。オンライン授業。保護者の方々には、大切な我が子への初等教育に大きな不安をおかけしたとと拝察いたします。

小学校生活、時には友とけんかをしたでしょう。時には親に生意気な口をきいたかもしれません。また、時には、友とのいさかいに、深く傷ついて、眠れない夜もあったかもしれません。しかし、皆さんは、いくつもの壁を乗り越え、自分の道を自分の足で歩み続け、卒業という時を こうして立派に迎えました。

ここで、卒業を祝し、私から卒業生の皆さんへ、これからの人生で大切にしてほしい心を贈ります。それは、【決して、他の人と比べない！ 世界に一人だけの自分を大切に！】という心です。魂の歌「This is Me」にある【ありのままにいる これが私】…この心を大切にしてほしいのです。

昨年、フランスのパリでオリンピックが開催されました。そこで、日本勢の金メダル第一号に輝いたのが、日本女子柔道史上 最年長となる三十一歳でオリンピック初出場を果たした角田夏実選手でした。角田選手は、真後ろに自分の背中を畳に付け、足で相手のおなかを支えて、空中、大きく相手の体を回転させ、頭越しに投げる技・【巴（ともえ）投げ】を得意とし、巴投げで相手を崩してから関節技で勝負を決めるといった「自分の闘うスタイル」を貫き通しました。角田選手の言葉では、「ちょっと他とは、ずれている自分、自分の特色を伸ばす」柔道と出合ったのが、東京学芸大学柔道部であったといいます。角田選手は、高校時代から、関節技を得意としていましたが、日本では立ち技で一本をとる柔道を重視し、求める傾向がありました。しかし、大学では「ずれている自分」の修正を求められることはなく、むしろ、「他者と違うズレ」をどう伸ばしていくかを追究したそうです。苦手をどう埋めるかより、得意なところを伸ばす環境があったといいます。

…卒業生の皆さん、皆さんには、人それぞれ「違い」があります。その「違い」は「大切なその人の個性」であり、「その人らしさ」でもあるのです。

決して、「違い」を敬遠するのではなく、「違い」を認め合い、共に連帯し合っていてほしいと願っています。そして、他の人と比べて「周囲との違い」に臆することなく、【世界に一人だけの自分を大切に】していてほしいと願っています。

角田選手は、大学柔道部時代を、こうも振り返っています。

「自分のやり方を否定されなかったから、自分らしいこと、やりたいことができた。『自分が好き』って思えたのが、とても大きかったと思います。」と。

どうか、皆さん、この世に生まれることができたことに感謝し、この世界の素晴らしさに大いに感動して、一度きりの人生を幸せなものとしてほしいと思います。

【世界に一人だけの自分】を大切に、『自分が好き』って思う気持ちを大切にはぐくんで、これからも、自分の人生を自分の足で力強く歩んでいってください。

結びに、これまで、お子様を慈しみ、守り育ててくださった保護者の皆様、お子様の小学校ご卒業、誠におめでとうございます。十二年前、お子様が誕生して、大きな幸せと喜びを感じ、両手で抱きかかえていた小さな我が子が、このように心身ともに健やかに成長されました晴れ姿、さぞや 思いひとしおのことと思います。心からお祝い申し上げます。

本日、ご臨席賜りましたご来賓の皆様、並びに 保護者の皆様の益々のご健勝と共に、つばさの子どもたちの前途洋洋たる未来を祈念いたしまして、式辞といたします。



おめでとうございます！！

【さいたま市児童生徒表彰】

【さいたま市体育優良児童表彰】

【青少年赤十字児童生徒表彰】

【埼玉県産業教育振興会児童生徒表彰】

24時間子どもSOSダイヤル

0120-0-78310

(なやみいおう)

おめでとうございます！！

【小学校英語劇発表会】

6年生を送る会

1～5年生が、お世話になった6年生に心をこめて、お祝いのおし物を披露し、感謝の気持ちを精一杯表現しました。6年生は、最高学年らしい、あっと驚かせるような演出と素晴らしい歌声を体育館中に響かせました。



吹奏楽部スプリングコンサート

音楽をこよなく愛するメンバーが、情熱を注いで磨き上げてきた演奏。このメンバーでの最後の演奏に、最後の最後の1音まで、精一杯の想いを込めました。



感謝の会

毎日お世話になっている防犯ボランティアの皆様へ感謝のお手紙とお花を渡しました。日頃なかなか伝えられない「ありがとう」の気持ちを伝えることができました。



6年生奉仕作業

6年間の学び舎に感謝の気持ちを込めて学級文庫や一輪車の整備、理科室などの特別教室の普段行き届かない箇所の清掃等、心を込めて行っていました。

